日本共産党
流山深井後援会

ニュースあすなろ

15年３月15日
第１９３号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154−0526
（部内資料）

子どもを戦場にやらない
身近なくらしに光を
もっと教育をよくしたい

こそ県民の願い

矢田春代（やだはるよ）

原発から撤退 ただ今原発ゼロ!!

県全体の民生費	46位
社会福祉費	47位
老人福祉費	46位
児童福祉費	45位

日本共産党の前進で県民本位に転換
●財政力は全国4位の千葉県
住民の願い後回し、企業に選ばれる千葉県づくり、ゼネコンだけが儲かる大型公共事業から

巨大開発のムダ使いやめて
福祉の財源に!!

●県議選は
4月3日告示
12日投票

●市議選は
19日告示
26日投票

あなたの力をお貸しください

女性の会が市内全域で訴え
「平和のキューピットを県議会に送ろう」

日本共産党女性の会で「**千葉県議会に矢田春代さんを!!**」とひな祭り行動を行いました。昨年7月の集団的自衛権行使容認の閣議決定を具体化する法案づくりが急ピッチで進められ、戦争への不安がつのるなか。

矢田春代候補は「戦争する国づくりは**やだ**!!」「母親は子どもを戦地に行かせるために大切に育てたわけではない！子どもたちを戦地には絶対に行かせたくない!!」と力強く訴えました。

70年近く戦争のない平和な日本を保障してきた憲法9条を破壊する法律づくりを許さない！

自民党議員が多数を占める千葉県議会に**平和のキューピット矢田春代さん**を送ろう！

県政にさわやかな春風を！

「はるよ来い、早く来い」

とピンクのスカーフを振り、ひなまつりの歌をうたいながら華やかな行動でした。

花山　公園で子どもと遊ぶ母親から話しを聞く矢田春代予定候補

3・11と3・10の悲劇を忘れることはできない

3月11日の原発事故から4年。故郷に帰ることもできない人が12万人。職を失い家族を失って体調も崩し、希望もなくして自殺した人など、原発事故の関連死は2千3百人を越えた。

事故の収束も出来ないのに再稼働という無責任。国内でこれほど人命を軽んじる政権が、「集団的自衛権は国民の命を守るため」とぬけぬけという。「イスラム国」を名乗る暴虐集団の人質にされた日本人2人を「テロに屈しない」と称して救出の努力もせずに見殺しにした。これではっきりした。安倍総理の守ろうとしているのは「国家」であって「国民」ではない。

安倍総理がこだわり続ける靖国神社には「お国のために戦った英霊が」というが、第二次大戦で「名誉の戦死を遂げた英霊」の半数以上は餓死や病死で無念の最後をとげたことは隠れもない事実だ。この人々の御霊を安らかにするのは戦争を煽ることではなく、二度と戦争をしないことだ。

3月10日の東京大空襲では一夜にして10万人が犠牲に。あれから70年、千葉県はかつて首都と皇居を守るための前線基地。いまも軍事基地が松戸にも柏にもあり、森田知事の下で戦争を想定した避難計画まで行なわれている。戦いたくてたまらない総理と一緒の右翼的な議員が多数を占める県議会。県民の税金が大企業向けの無駄な開発事業のために湯水のごとく使われている。

これをストップして豊かな財源を県民の福祉に使わせるよう大転換を迫る県議選に。（石林）